

山の日情報

(第 27 号)

令和2年9月25日

秋田県生活環境部
自然保護課

【活動記録】

9月19日に秋田市の太平山山頂において、ボランティアによる公衆トイレの外壁塗装などを行いました。県央部の山岳会の方々が数多く参加してくださり、合計25名での活動となりました。

参加者は旭又登山口を朝8時頃にスタート。その際、登山口に新しく完成した橋の渡り初めを行いました。以前に架けられていた橋が平成29年に壊れて以来、3年ぶりの復活です。これで、迂回路を通らず旭又コースに入ることができます。長らくお待たせいたしました。

(※橋の一般開放は10月上旬の予定です。)



↑登山口の橋の渡り初め

登山口から山頂までは3時間ほど。荷物を背負った状態でも、ほぼコースタイムどおりに到着することができました。

この日は、山頂にある太平山三吉神社様の参籠所(山小屋)を特別に開けていただき、荷物置き場などに使用させていただきました。また、参籠所から脚立をお借りし、作業に使用させていただきました。この場を借りて御礼申し上げます。



↑塗装前のトイレ

山頂トイレの外壁は、年月が経ってだいぶ乾燥している状態で、見た目にもくたびれている印象。ここから、窓ガラスなどにマスキングを行い、塗装に入ります。

参加者は、通常の刷毛のほか、ローラー刷毛や高所用の継ぎ柄も使い、要領よく作業を進めます。計画段階では、時間内に塗り終えることができないのではと心配していましたが、思った以上に作業が進み、お昼過ぎには塗装を終えることができました。



↑塗装作業の様子

なお、この日は塗装作業のほかに、登山道のごみ拾いや、刈り払った草を登山道脇に寄せる作業(旭岳周辺)なども行いました。

幸い、登山道に目立つごみはなく、利用者の方々のマナーにより、きれいな山が守られていることを実感しました。刈り払われた登山道についても、草寄せを

することで、より歩きやすい道に整備することができたと思います。

すべての作業を終えた後は塗装したトイレの前で記念撮影を行い、下山しました。



↑ 登山道の草寄せ作業



↑ 塗装後のトイレ



↑ 塗装して若返ったトイレの前で記念撮影。
一部、先に下山した方が写っておらず、すみません…

トイレはなくてはならないものですが、山間部などの険しいところにあるトイレの維持には大変な苦勞が伴います。ただでさえ移動に時間がかかる上、必要な道具を運搬する負担もあります。トイレを利用する際は、ぜひ施設の維持管理に関わっている方々にも思いを馳せてみてください。

ボランティア作業において、明治安田生命相互保険会社秋田支社様から参加者に飲み物を、大阪ガスケミカル株式会社様から塗装に使用する塗料「キシラデコールフォレストエージ」を提供していただいています。この場を借りてご支援に感謝申し上げます。

太平山での活動を終え、今年のボランティアも残り1回となりました。最後は10月17日（土）に能代市のきみまち阪において、公衆トイレの外壁塗装等を行います。能代市では初めての実施となります。その様子も「山の日情報」でお知らせする予定ですのでお楽しみに。